

皆さん、こんにちは。田植えが済んだこの時期は、結構肌寒い風が吹き渡るものです。くれぐれも、風邪等お召しにならないようにお気を付けてください。



地震発生から一ヶ月も過ぎましたが、熊本では相変わらず余震が続いております。それにしても国の対応が遅い感じがします。5年前の大震災の経験があるはずなのに・・・と多くの人たちは思いますが、現在の政権は、あの時の対応は「野党」でしたから・・・と公然と国会等でも答弁しております。被害を受け、苦しんでいる人々にとっては、与党も野党も関係無く、安定した生活に一日も早く戻れる事を望んでいる訳ですので、ギアチェンジを行い、安定化への加速を行って欲しいものです。



先日、山大で「村山地区医療機関退院支援部署連絡会議」という長い名称の会議が有りました。病院に入院していた患者さんが退院するにあたって、様々な関わりをもつ職種が集まり、患者さんの状態を把握、検討し、どうすれば退院後の在宅医療にスムーズに移れるかを検討するものです。入院担当主治医、退院後の担当かかりつけ医、看護師、ケースワーカー、介護を要するケースならば絶対必要なケアマネージャー等々、60人余りの方々が集まり熱心な話し合いをしました。これまでなら、病院の主治医が、“もう良くなったから、家で療養してください”で終わっていたのですが、これからは、4月号で書きましたように、療養の方針が決まったら、病院での役割は終了となるが多くなるのです。それ故、かなり立ち入った内容も含んだ在宅療養の検討が必要な訳です。このことが、無駄の無い医療の構築に繋がり、今後各病院で行われるようになるでしょう。



新緑が美しい季節です。さわやかな風を受けながら、ご近所を散策しましょう。

平成 28 年 6 月 院長 清治 邦夫